

審判への道 - 審判資格取得方法 -

資格	大会カテゴリー						資格取得のためには	試験	年齢制限	費用	問い合わせ先
	小	中	高	大学	Vリーグ	IF・AF大会					
市区町村協会・ 連盟公認審判員	○	△	△	×	×	×	各市区町村協会、連盟主催の 審判講習会を受講	講習会の受講のみの場合が殆ど	なし	主催団体により異なる	各都道府県 バレーボール協会
都道府県協会 公認審判員	○	○	△	×	×	×	★都道府県により実施状況が異なるので 確認が必要 (東京都は都公認資格がないので C級から受講、など)	試験の形態は都道府県協会によって 異なるので要確認	なし	主催団体により異なる	各都道府県 バレーボール協会
日本バレーボール協会 公認C級審判員	○	○	○	△	×	×	★各都道府県協会単位で実施 ★6人制、9人制、ビーチの一つで受講でき る	試験の形態は都道府県協会によって異なるので要確認 〔筆記のみもあれば筆記+実技の協会もある〕  ※ビーチについては、6月に開催される 「全国ビーチ講習会」時のみ取得可能	18歳以上	受験料 3千円～5千円程度 ワッペンなど3千円	各都道府県 バレーボール協会
日本バレーボール協会 公認B級審判員	○	○	○	○	×	×	★各都道府県協会単位で実施 ★ビーチC級も6人制または9人制のB級試験を 受講し、合格後ビーチB級と認定される	試験の形態は都道府県協会によって異なるので要確認 〔原則的には筆記+実技で実施〕	18歳以上	受験料 3千円～5千円程度 ワッペンなど3千円	各都道府県 バレーボール協
日本バレーボール協会 公認A級審判員	○	○	○	○	△	×	★JVA審判規則委員会主催の 講習会でのみ取得可能 ★4泊5日：8月に大阪にて実施	★都道府県協会の推薦を受け、2年に一度実施される 「A級審判員資格取得講習会〔A級審査会〕」を受講 ★極めて優秀であればA級(任期4年)、 優秀者はA級候補(任期2年)に認定 ★A級候補からA級への昇任は、ブロック大会以上の 大会での実績(要確認)で審査される	20歳以上、 原則的に40歳 以下	資料代として5千円 合格後、ワッペン代とし て3千円～5千円 (4泊5日の宿泊代等は 自費負担)	各都道府県 バレーボール協会
国際バレーボール連盟 公認審判員候補	○	○	○	○	○	○	★年に5回程度、世界各国でIRCC (International RefereeCandidate Course)が 開催され、それらのコースの1つを受講	★各ブロックからの推薦を受け、JVA審判規則委員会が 開催する「I(アイ)スクール研修会」に参加 ★2年以上のスクール活動及び英語力検査 (口頭試問+日常会話+競技規則の理解等)に合格後、 JVAからFIVBに推薦される	40歳以下	参加する開催国により異 なる(渡航費・宿泊費・受 講料等すべて自己負担)	日本バレーボール協会 審判規則委員会
国際バレーボール連盟 公認審判員	○	○	○	○	○	○	★国際審判員候補資格取得が必須条件となる	★国際審判員候補を経て、FIVB公認の大陸大会・ 世界大会において主審3試合以上の公式記録用紙を提出 ★日本の国際審判員定員(20名)の枠内で昇任	40歳以下	参加する開催国により異 なる(渡航費・宿泊費・受 講料等すべて自己負担)	日本バレーボール協会 審判規則委員会

※△印は、各大会にて上級審判員の多い場合は、「副審」、「記録員」として割り当てられることが多いことを示す。